

働く男のライフスタイル情報紙

# Biz Life Style [ ビズスタ東京 ] 特別版

2024 03

『Biz Life Style』は東京、神奈川、関西、仙台、福岡、広島にて49万部発行  
下記URLまでアクセスを。

[www.biz-s.jp](http://www.biz-s.jp)

本紙はスポンサー様の協賛により制作しております。

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは

TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作／株式会社ディリースポーツ案内広告社

〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F

©2024 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD



## 企業経営者と株主は、同じ目線に立てるのか。

今年からスタートし、さっそく  
レンドワードの仲間入りを果たし  
た新NISA。日本株も活況で、2  
月22日には日経平均株価が34年ぶ  
りに史上最高値を更新という大  
ニュースも。朗報続きで市場が活況  
に沸く今、ここに来て資産運用を  
自分のこととして実感する人が増  
えてきたようだ。だが、資金の投下  
先は多種多様。インターネットでは  
インデックスファンドを推奨する  
ケースが多いが、特徴的な運用を行  
うアクティブファンドも面白い。  
自分に向いている投資手法に迷う  
方は少なくないだろう。

資産形成に乗り出すなら、でき  
れば社会にも役立つ投資法であつ  
て欲しい。そんな思いを抱える個人  
投資家層から高い人気を集めてい  
るのが、東京海上アセットマネジメ  
ントの投資信託「東京海上・ジャパ  
ン・オーナーズ株式オープン」だ。日  
本株に投資する投資信託だが投資  
対象が特徴的で、日本企業の中で  
もオーナー企業に特化するという  
コンセプトで設計されたファンド。  
経営者が実質的に大株主であり、  
自分自身の判断でビジネスに取り  
組む企業のみが投資対象なのだ。  
オーナー企業と聞くとワンマン  
なイメージで語られることがある  
が、同社によれば投資先という視  
点ではむしろ魅力的な要素が多い  
という。事実、同ファンドは長期間  
にわたる優れた運用実績で注目を  
集めているが、なぜオーナー企業  
にチャンスがあるのか。その理由に  
ついて、同社のファンドマネー  
ジャーに直接話を伺ったのでご紹  
介しよう。もちろん、入門者にも分  
かりやすく話していただいたので、  
どうぞご心配なく。



My Favorite Life Style



## 東京海上・ジャパン・オーナーズ株式オープン

追加型投信／国内／株式

### Biz Life Style Pick up >>>

#### 基準価額(税引前分配金再投資)は約5倍に上昇

※2024年2月末時点

東京海上・ジャパン・オーナーズ株式オープンは、国内の株式のうち、経営者※1が実質的に主要な株主である企業※2の株式を主要投資対象とするファンド。ファンド設定以降、基準価額(税引前分配金再投資)は実に約5倍にも達しており、TOPIX(配当込み)を大きく上回る実績を残している。

※1:「経営者」とは、経営の中心を担っていると考えられる役員等(取締役・執行役員)を指します。※2:「経営者が実質的に主要な株主である企業」とは、経営者およびその親族、資産管理会社等の合計持株比率(実質持株比率)が5%以上である企業とします。

中面では東京海上アセットマネジメントのオフィスにお邪魔してファンドマネージャーに敢行したインタビューを掲載したが、いかがだったろうか。今回は同社の投資信託『東京海上・ジャパン・オーナーズ株式オープン』に焦点を絞って話を聞いたが、将来、ビジネス界を牽引する存在へと成長する可能性を秘めたオーナー経営者に投資するという方針は、投資本来の目的にも通じる普遍性を感じた。

久々に盛り上がる日本企業への期待感

## 良好なパフォーマンスを生み出す秘訣

### オーナー企業の強み



- ① 長期的な株主利益の追求
- ② 迅速な意思決定

### ファンドの運用力

#### オーナー経営者の「人を見る」



- ① リーダーシップ調査
- ② リスク管理の徹底



出所:ブルームバーグ ※基準価額は、1万口当たり、信託報酬控除後で表示しています。また、設定日前営業日を10,000円としています。※TOPIX(配当込み)は、当ファンドのベンチマークではありません。※当ファンドのリターンは、税引前分配金を再投資したものとして計算しているため、実際の投資家の利回りとは異なります。※上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

【本資料で使用している市場指標】TOPIXの指数值およびTOPIXにかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下、JPXといいます。)の知的財産であり、指標の算出、指標の公表、利用等TOPIXに関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXにかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数值の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。ファンドは、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、ファンドの設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

【ファンドの費用】購入時手数料／購入価額に対して上限3.3%(税抜3%)、信託財産留保額／なし、運用管理費用(信託報酬)／ファンドの純資産総額に年率1.584%(税抜1.44%)をかけた額、その他の費用・手数料／監査費用(ファンドの純資産総額に年率0.011%(税込)をかけた額(上限年66万円))、売買委託手数料、資産を外国で保管する場合にかかる費用、信託事務等にかかる諸費用等。＊監査費用を除くその他の費用・手数料等については、取引等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。＊手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、事前に表示することができません。

【ファンドのリスク】●投資する有価証券等の値動きにより基準価額は変動します。したがって、投資元本は保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。●運用による損益は、全て投資者に帰属します。●投資信託は預貯金や保険と異なります。●ファンドへの投資には主に「価格変動リスク」「流動性リスク」等が想定され、これらの影響により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

リスク、手数料等についての詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご確認のうえ、ご投資に関してはご自身でご判断ください。本資料は東京海上アセットマネジメントが作成したものです。投資信託の取得のお申込みを行う場合は、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面等の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

ファンドの詳細はこちら

■設定・運用



東京海上アセットマネジメント

商号等: 東京海上アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第361号  
加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会  
<https://www.tokiomarineam.co.jp/> サービスデスク: 0120-712-016(営業日の9時~17時)

